

# ◇工場からのお知らせ◇

## 目黒清掃工場 ～埋立処分場を長く使うために～

最終処分場の延命化や環境への負荷軽減のため、当組合では平成19年度までに全ての焼却灰を全量スラグ化するよう施設の整備を進めています。作られたスラグは建設資材等への有効利用を図っています。(目黒区内では茶屋坂付近の区道の工事で埋め戻し材として利用されています。)

当工場も来年3月稼働の品川清掃工場の灰溶融設備に、飛灰を乾いた状態で効率的に搬出するため、飛灰搬出施設を新たに設置する工事を行っています。

## 大田清掃工場 ～トロッコに乗せて運びます～

大田清掃工場には、第一工場と第二工場がありますが、灰バンカは第二工場にしかありません。そこで第一工場の灰はコンテナ付きトロッコに載せて、第二工場まで運ばなければなりません。第一工場と第二工場は地下で約100メートルの連絡通路で繋がっています。トロッコは人が歩くくらいのスピードで「禁じられた遊び」等のメロディを奏でながら、自動運転で1台約2トンの灰を第二工場の灰バンカに運びます。



▲灰を灰バンカに落とすところ

## 多摩川清掃工場 ～花壇をつくりました～

休日や日曜日ともなると当工場の正門前の歩道は、多摩川の河川敷を訪れる住民の方々の散歩道となり、結構賑わっています。先日、職員のアイデアが発端となって、工場内の工事車両の駐車場兼資材置場の歩道に面する部分に小さな花壇を造ってみました。今はパンジーが中心ですが、近々チューリップを植える予定です。今後も徐々に花の種類を増やして、ささやかですが通行する方々の心とむ空間を提供したいと考えています。



▲今はパンジーが中心に咲いています

## 千歳清掃工場 ～飛灰搬出設備整備工事を実施します～

最終処分場(新海面埋立処分場)を長く使うため、焼却灰の全量スラグ化を進めています。当工場では、他の工場に焼却灰を搬出して溶融処理します。このため飛灰の搬出に必要な施設を整備します。工事の概要は工場棟北西に飛灰搬出設備を設置するとともに、既存の飛灰処理設備を更新します。工事期間は、平成17年9月から平成19年9月までの予定です。

## 渋谷清掃工場 ～工場に搬入されるごみの種類～

清掃工場では、施設の安定的な運営に役立つ基礎資料を得るために、年4回ごみの組成状況調査を実施しています。全工場平均と比較した渋谷清掃工場の特徴は、紙類が若干多いこと、厨芥と木草類が少ないことです。オフィス街を抱えている影響と思われるが、家庭ごみを含め紙類をリサイクル等で活用することができれば、ごみの更なる減量化につながります。